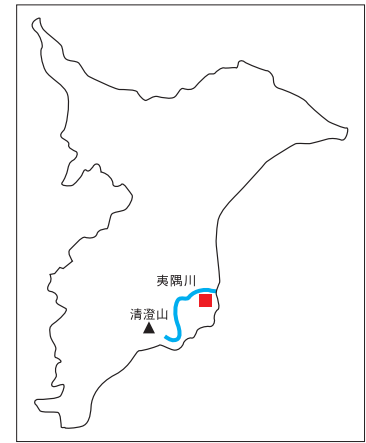




みさき ようすい
岬ダム (いすみ市：生活用水)



かめやま きみつ たもくてき
亀山ダム (君津市：多目的)
多目的ダム：
生活用水や洪水調節など2つ
以上の役目を持つダム



さくま
佐久間ダム
のうぎょうようすい
(鋸南町：農業用水)

・印旛沼の開発 (49, 50ページ)

利根川が銚子へ流れるようになってから、利根川の水が印旛沼に流れ込み、大雨のたびに大きな被害を受けるようになりました。

このため、昭和の大きな戦争のあと、洪水を防ぎ、食料の生産のため、印旛沼の干拓工事を行いました。さらに、印旛沼開発事業(65, 66ページ)に引き継がれ、印旛沼の水は農業用水、工業用水、生活用水として利用されることになりました。

印旛沼は千葉県にとって、とても大切な水源となっています。



1945(昭和20)年ごろの洪水のようす

水につかった稲を船を出して刈り取っているところ
(印西市(旧印旛村))



空からみた印旛沼

・^{ほう}^{そう}^{どう}^{すい}^ろ房総導水路 (53ページ)

房総導水路は、利根川から水を引くことにより、水の足りな
 かった九十九里、夷隅、安房地域の生活用水や千葉から富津
 にかけて京葉臨海工業地帯の大半の区域に工業用水を供給する
 ために計画されました。

現在では、新しい水路や東金ダム、長柄ダムなどが完成し、生活用水や工業用水として使われています。



とうがね とうがね
東金ダム（東金市）



ながら ながら
長柄ダム (長柄町)



ぼう そう どう すい ろ ぜん たい ず
房総導水路の全体図

※^え絵はイメージです。

・北千葉導水路 (64ページ)

北千葉導水路には、3つの役割があります。

1つ目は、利根川の水を江戸川に送り、生活用水や工業用水として使われます。

2つ目は、手賀川と坂川に排水ポンプを設置し、洪水被害から人々を守ります。

3つ目は、利根川の水を手賀沼に入れて、沼の水をきれいにします。このおかげで、手賀沼は以前よりきれいになってきています。



第一機場



手賀川浄化施設

北千葉導水路の全体図

